

報告なし  
37

高度急性期  
93

急性期  
858

回復期  
128

慢性期  
238

休棟中等  
10

1,364

H28  
病床機能報告

▲3

▲352

▲243

▲35

在宅医療等  
222人 / 日

506

371

203

96

1,176

H37  
必要病床数

区分	H37 必要病床数	H28病床 機能報告	診療所計	病院計	十和田市立中 央病院	三沢市立三沢 病院	公立七戸病院	公立野辺地病 院	十和田第一病 院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院	六戸町国民健 康保険病院
高度急性期	96	93		93	93								
急性期	506	858	85	773	176	220	84	120	60	60	53		
回復期	371	128	46	82	46		36						
慢性期	203	238	36	202				31			57	84	30
休棟中等		10	0	10	10								
報告なし		37	37	0									
計	1,176	1,364	204	1,160	325	220	120	151	60	60	110	84	30

(考察)

・ 将来の必要病床数と直近の病床機能報告の結果を比べると、高度急性期と慢性期に近い形となっているが、急性期が多く回復期が少ない。

・ 現在、入院医療で対応している患者のうち将来的に在宅医療へ移行することが可能と考えられる患者は、平成37年で222人と推計されており、新たに在宅医療の提供体制の整備が必要である。

1. 入院患者数

	十和田市立中 央病院	三沢市立三沢 病院	公立七戸病院	公立野辺地病 院	十和田第一病 院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院	六戸町国民健 康保険病院
入院患者数(※1 1日あたり)	244.0	180.7	78.3	90.8	51.0	41.9	95.6	47.0	4.4
病床稼働率(※2 入院患者数／病床数(休棟中等、報告なし除く))	77.5%	82.1%	65.3%	60.1%	85.0%	69.8%	86.9%	56.0%	14.7%

(考察)

・ 病床稼働率が8割を上回っているのは三沢市立三沢病院、十和田第一病院、ちびき病院の3病院である。

2. 算定する入院基本料届出病床数

	十和田市立中 央病院	三沢市立三沢 病院	公立七戸病院	公立野辺地病 院	十和田第一病 院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院	六戸町国民健 康保険病院
一般病棟7対1入院基本料	269								
一般病棟10対1入院基本料		220	84	120	60	60	53		30
地域包括ケア病棟入院料1			36	20					
地域包括ケア入院医療管理料1	46								
療養病棟入院基本料1				31			57		
療養病棟入院基本料2								84	
合 計	315	220	120	171	60	60	110	84	30

(考察)

・ 急性期と報告のあった病棟について、十和田市立中央病院のみが一般病棟7対1入院基本料の届出をしている。

・ 三沢中央病院は全床を慢性期として報告し、療養病棟入院基本料2の届出をしている。

3. 認定・届出等

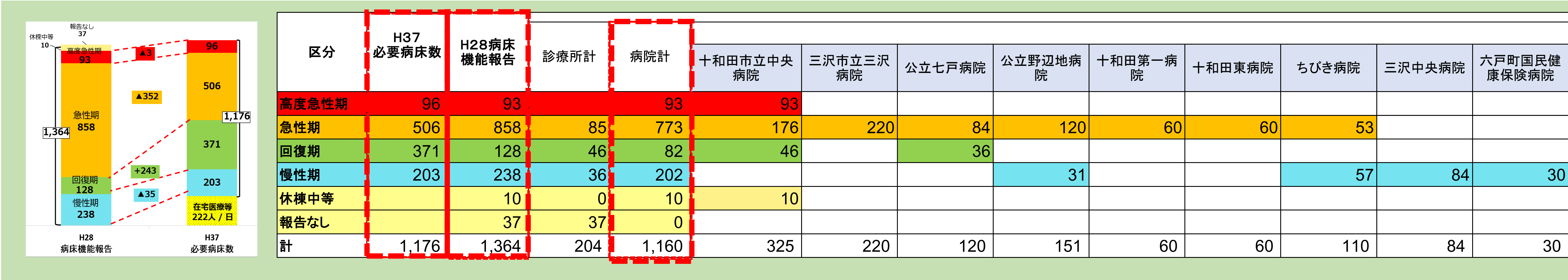
	(項目の解説)	十和田市立中 央病院	三沢市立三沢 病院	公立七戸病院	公立野辺地病 院	十和田第一病 院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院	六戸町国民健 康保険病院
DPC医療機関群の種類	DPC制度とは、急性期の入院医療を担う医療機関において、患者に対し、入院日数に応じた1日あたり定額の医療費を請求する制度です。この項目は、DPC制度の対象となる病院の特性を示すもので、特性や疾患等に応じて1日あたりの医療費の設定が異なります。Ⅰ群が大学病院本院、Ⅱ群が大学病院本院に準じる病院、Ⅲ群がそれ以外の病院であることを示します。	Ⅲ								
救急告示病院の告示の有無	救急告示病院とは、事故や急病等による救急患者を救急隊が緊急に搬送する医療機関として、都道府県知事が認めた病院です。また、救急患者のうち、入院医療が必要な重症な救急患者を休日や夜間に受け入れる医療機関を二次救急医療施設といいます。さらに、二次救急では対応できない重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる医療機関を三次救急医療施設と呼びます。	○	○	○	○	○				○
二次救急医療施設の認定の有無		○	○	○	○					○
三次救急医療施設の認定の有無										
在宅療養支援病院の届出の有無	在宅療養支援病院とは、24時間往診が可能な体制を確保し、また訪問看護ステーションとの連携により24時間訪問看護の提供が可能な体制を確保している病院のことです。									
在宅療養後方支援病院の届出の有無	在宅療養後方支援病院とは、在宅医療を受けている患者の急変時に備え、緊急入院を受け入れるための病床を確保している病院です。		○							

(考察)

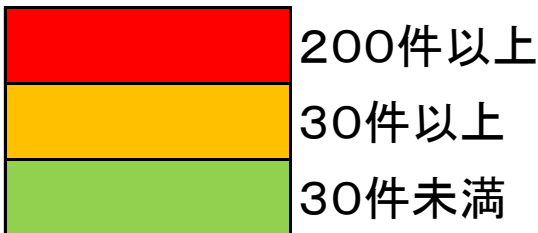
・ 三沢市立三沢病院のみが在宅療養後方支援病院の届出を行っている。(平成29年7月から十和田市立中央病院も届出を行っている。)



平成28年度病床機能報告の結果（診療実績等）



4. 手術の状況



1. 手術件数は、平成28年6月診療分(1ヶ月間)の値
2. \* の表示は値が10件未満であることを示す。

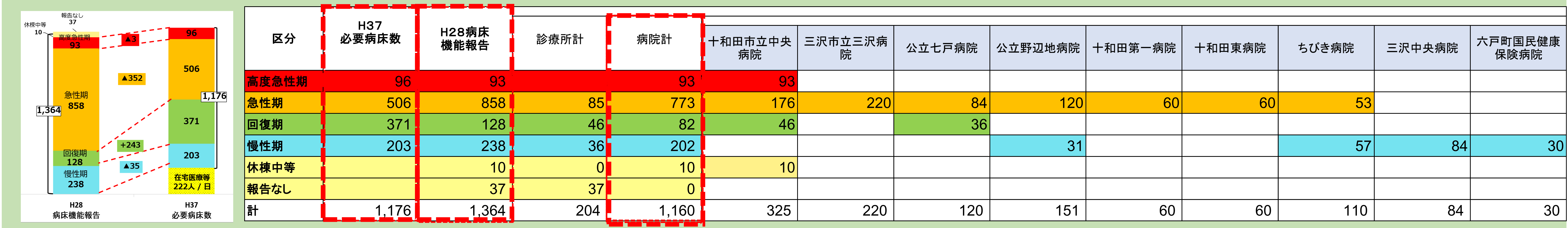
(項目の解説)			十和田市立中央 病院	三沢市立三沢 病院	公立七戸病院	公立野辺地病 院	十和田第一病 院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院	六戸町国民健 康保険病院	
手術総数			180件	137件	32件	37件	13件	33件	*	0件	0件	
臓 器 別 の 状 況	皮膚・皮下組織	手術を受けた患者数と、手術の対象となった臓器別の患者数です。	*	*	*	*	0件	0件	*	0件	0件	
	筋骨格系・四肢・体幹		27件	10件	42件	*	0件	34件	0件	0件	0件	
	神経系・頭蓋		*	0件	0件	*	0件	*	0件	0件	0件	
	眼		11件	0件	*	10件	0件	0件	0件	0件	0件	
	耳鼻咽喉		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	顔面・口腔・頸部		0件	0件	0件	0件	0件	0件	*	0件	0件	
	胸部		*	*	0件	*	0件	0件	0件	0件	0件	
	心・脈管		13件	13件	0件	*	0件	0件	0件	0件	0件	
	腹部		109件	71件	*	*	0件	0件	*	0件	0件	
	尿路系・副腎		*	*	0件	*	13件	0件	0件	0件	0件	
	性器		15件	13件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	歯科		0件	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
全身麻酔の手術件数			68件	31件	24件	*	0件	29件	0件	0件	0件	
臓 器 別 の 状 況	皮膚・皮下組織	全身麻酔を用いて手術を受けた患者数と、手術の対象となった臓器別の患者数です。	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	筋骨格系・四肢・体幹		17件	*	22件	*	0件	29件	0件	0件	0件	
	神経系・頭蓋		*	0件	0件	0件	0件	*	0件	0件	0件	
	眼		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	耳鼻咽喉		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	顔面・口腔・頸部		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	胸部		*	*	0件	*	0件	0件	0件	0件	0件	
	心・脈管		0件	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	腹部		37件	22件	*	*	0件	0件	*	0件	0件	
	尿路系・副腎		*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	性器		14件	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	歯科		0件	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
胸腔鏡下手術			*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
腹腔鏡下手術			30件	*	*	0件	0件	0件	24件	0件	0件	

(考察)

- 急性期と報告のあった7病院のうち、1ヶ月の手術件数が30件以上の病院は5病院である。
- 全身麻酔の手術を行っているのは、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院、公立七戸病院、公立野辺地病院、十和田東病院の5病院である。



平成28年度病床機能報告の結果（診療実績等）



1. 手術件数は、平成28年6月診療分(1ヶ月間)の値
2. \* の表示は値が10件未満であることを示す。

5. がん、心筋梗塞、分娩への対応状況

(がん)		<div><div></div>3 0 件以上</div> <div><div></div>3 0 件未満</div>	十和田市立中央 病院	三沢市立三沢病 院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院	六戸町国民健康 保険病院
(項目の解説)											
悪性腫瘍手術	がんを取るための手術です。値は手術を行った患者数です。		*	*	0件	*	0件	0件	*	0件	0件
病理組織標本作製	患者の身体から採取した細胞や組織等を観察し、病気の確定診断をすることを病理診断といいます。病気の早期発見や治療方針の選択、治療効果の判定等にも役立ちます。値は病理診断に必要な標本(細胞の組織片等)を作成した患者数です。		78件	74件	*	*	0件	0件	17件	0件	0件
術中迅速病理組織標本作製	病気の良性・悪性の判断や切除範囲を決めるため、手術中に病理診断をすることを術中迅速診断といいます。そのための病理組織標本作製を、手術中に行った患者数です。		*	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
放射線治療	がん放射線を当てる(照射する)ことで、がんを縮小させる治療を放射線治療といいます。値は放射線治療を行った患者数です。		*	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
化学療法	化学療法は、抗がん剤によりがんを殺したり、小さくしたりする治療法です。値は化学療法を行った患者数です。(ここでいう抗がん剤とは、総務大臣が定める日本標準商品分類における「8742 腫瘍用薬」に指定されている医薬品のことを指します。)		*	23件	0件	*	0件	*	*	0件	0件
がん患者指導管理料1及び2	がんの患者が、診断結果や治療方法を理解し、納得のいく治療方針を選択できるよう、専門的な研修を受けた医師や看護師が、文書での説明や相談、指導を行っていることを示す項目です。値は相談や指導を行った患者数です。		*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)等を用いて動脈や静脈等に抗がん剤を持続的に注入する治療です。値はこの治療を行った患者数です。		*	19件	0件	*	0件	0件	*	0件	0件
肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入	肝臓がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて肝動脈内に抗がん剤を投入する治療方法を 抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入といいます。同時に、動脈の血流を遮断する物質を注入することで、肝臓のがんを殺す治療です。値はこの治療を行った患者数です。		0件	0件	0件	0件	0件	0件	*	0件	0件

(心筋梗塞)		十和田市立中央 病院	三沢市立三沢病 院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院	六戸町国民健康 保険病院
(項目の解説)										
経皮的冠動脈形成術	経皮的冠動脈形成術は、狭心症や心筋梗塞等の患者に対し、胸部を切り開く開胸手術をせず、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて心臓の冠動脈を血管の内側から治療する手術です。値はこの手術を行った患者数です。		*	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件

(分娩)		十和田市立中央 病院	三沢市立三沢病 院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院	六戸町国民健康 保険病院
(項目の解説)										
分娩件数(正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)	分娩を行った患者数です。		0件	19件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

(考察)

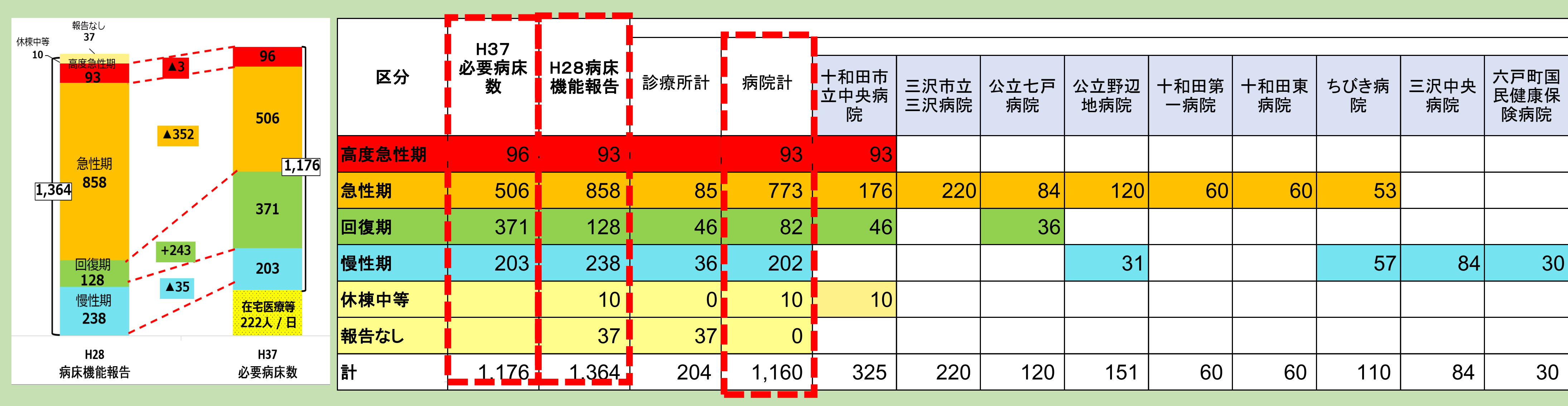
悪性腫瘍の手術を行っているのは、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院、公立野辺地病院、ちびき病院の4病院である。

心筋梗塞(経皮的冠動脈形成術)の手術を行っているのは、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院の2病院である。

分娩取扱を行っているのは、三沢市立三沢病院のみである。



平成28年度病床機能報告の結果（診療実績等）



1. 診療実績等のデータは平成28年6月診療分(1ヶ月間)の値
2. \* の表示は値が10件未満であることを示す。
3. 「休日に受診した患者延べ数」、「夜間に受診した患者延べ数」、「救急車受入件数」については、平成27年7月1日から平成28年6月30日までの1年間の件数

750件以上（社会医療法人の認定要件：夜間・休日 救急車受入件数＝年750件以上）

750件未満

6. 救急医療の実施状況

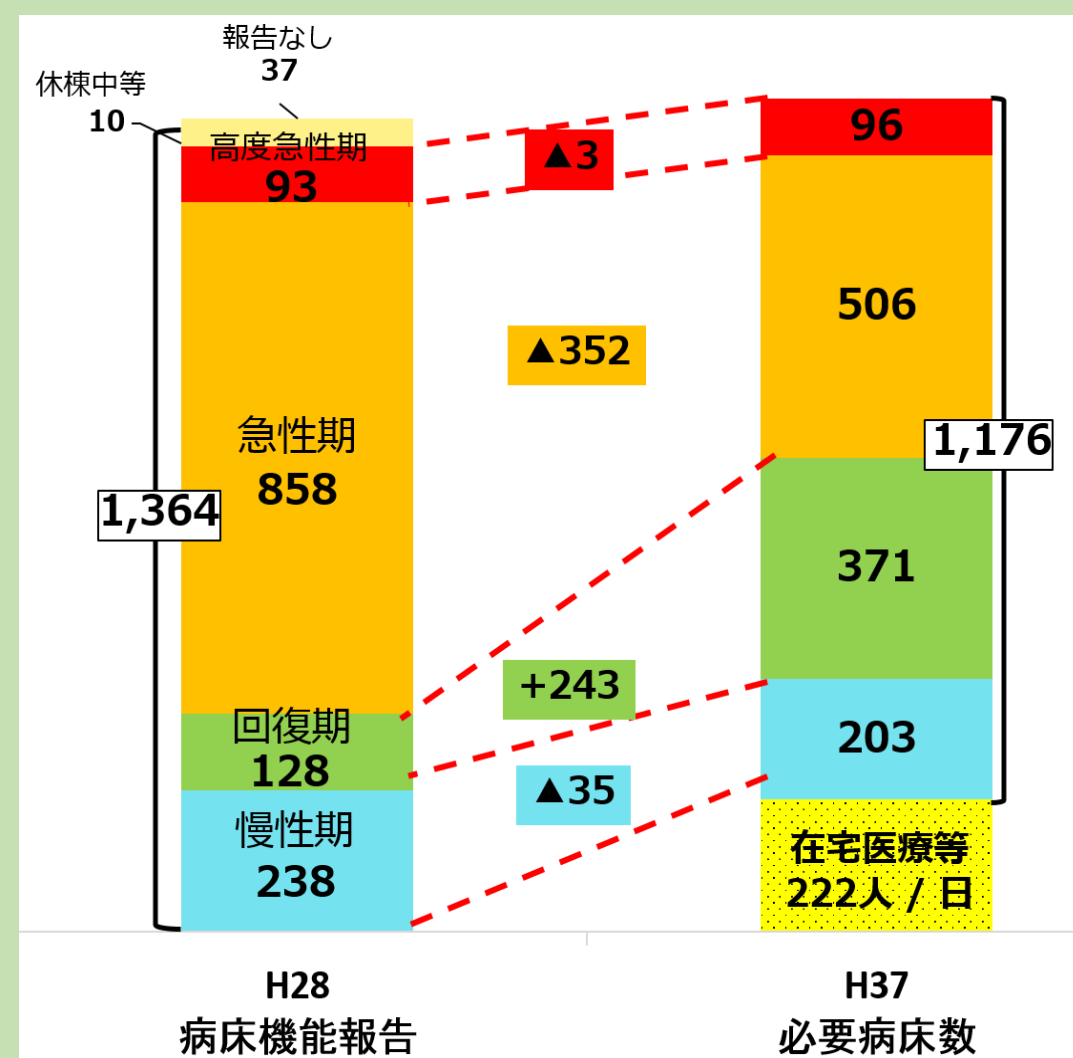
(項目の解説)

救急医療管理加算1及び2	意識障害、昏睡等の重篤な状態の患者の緊急入院を受け入れていることを示す項目です。値は休日又は夜間に緊急入院し、救急医療を行った患者数です。	196件	54件	90件	64件	20件	0件	0件	0件	0件
休日に受診した患者延べ数	休日(日曜、祝日、年末年始)に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。	3,140人	3,130人	839人	1,509人	576人	289人	93人	18人	17人
うち診療後直ちに入院となった患者延べ数		466人	306人	122人	164人	204人	*	25人	0人	0人
夜間・時間外に受診した患者延べ数	夜間・時間外(医療機関が表示する診療時間以外の時間(休日を除く))に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。	4,720人	5,122人	1,234人	852人	336人	144人	95人	0人	*
うち診療後直ちに入院となった患者延べ数		904人	705人	213人	148人	72人	0人	47人	0人	*
救急車の受入件数	救急車や救急医療用ヘリコプター等により搬送され受け入れた患者数です。	1,881件	1,445件	466件	612件	307件	10件	52件	0件	*
救命のための気管内挿管	気管内挿管は、気道確保を行うためのチューブ等を口や鼻から挿入する処置です。値は救命措置として気管内挿管を行った患者数です。	*	*	*	0件	0人	0人	0件	0人	0人

(考察)

救急車受入件数が年間750件を超えている病院は、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院の2病院である。

## 平成 28 年度病床機能報告の結果（診療実績等）



区分	H37 必要病床数	H28病床 機能報告	診療所計	病院計	令和3年度								
					十和田市立中央 病院	三沢市立三沢病 院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院	六戸町国民健康 保険病院
高度急性期	96	93		93	93								
急性期	506	858	85	773	176	220	84	120	60	60	53		
回復期	371	128	46	82	46		36						
慢性期	203	238	36	202				31			57	84	30
休棟中等		10	0	10	10								
報告なし		37	37	0									
計	1,176	1,364	204	1,160	325	220	120	151	60	60	110	84	30

## 7. リハビリテーションの実施状況

[illegible]



## 平成 28 年度 病床機能報告結果 （診療実績等）における考察部分の再掲

### （各医療機能区分の病床数について）

- ・ 将来の必要病床数と直近の病床機能報告の結果を比べると、高度急性期と慢性期に近い形となっているが、急性期が多く回復期が少ない。
- ・ 現在、入院医療で対応している患者のうち将来的に在宅医療へ移行することが可能と考えられる患者は、平成 37 年で 222 人と推計されており、新たに在宅医療の提供体制の整備が必要である。

### （入院患者数について）

- ・ 病床稼働率が 8 割を上回っているのは三沢市立三沢病院、十和田第一病院、ちびき病院の 3 病院である。

### （算定する入院基本料届出病床数について）

- ・ 急性期と報告のあった病棟について、十和田市立中央病院のみが一般病棟 7 対 1 入院基本料の届出をしている。
- ・ 三沢中央病院は全床を慢性期として報告し、療養病棟入院基本料 2 の届出をしている。

### （認定・届出等について）

- ・ 三沢市立三沢病院のみが在宅療養後方支援病院の届出を行っている。（平成 29 年 7 月から十和田市立中央病院も届出を行っている。）

### （手術の状況について）

- ・ 急性期と報告のあった 7 病院のうち、1 ヶ月の手術件数が 30 件以上の病院は 5 病院である。
- ・ 全身麻酔の手術を行っているのは、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院、公立七戸病院、公立野辺地病院、十和田東病院の 5 病院である。

### （がん、心筋梗塞、分娩への対応状況について）

- ・ 悪性腫瘍の手術を行っているのは、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院、公立野辺地病院、ちびき病院の 4 病院である。
- ・ 心筋梗塞（経皮的冠動脈形成術）の手術を行っているのは、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院の 2 病院である。
- ・ 分娩取扱を行っているのは、三沢市立三沢病院のみである。

### （救急医療の実施状況について）

- ・ 救急車受入件数が年間 750 件を超えている病院は、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院の 2 病院である。